

2023年3月23日

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 取締役社長 後藤高志
(コード番号：9024 東証プライム市場)
問合せ先 広報部長 多々良嘉浩
(TEL. 03-6709-3112)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月23日開催の取締役会において、2023年2月9日に公表した2023年3月期の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	償却前営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回公表数値 (A) (2023年2月9日発表)	424,000	17,000	74,000	14,000	79,000
今回修正予想 (B)	427,000	21,000	76,000	18,000	54,000
増減額 (B-A)	3,000	4,000	2,000	4,000	△25,000
増減率 (%)	0.7%	23.5%	2.7%	28.6%	△31.6%
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	396,856	△13,216	42,415	△17,440	10,623

2. 修正の理由

今回公表する通期連結業績予想は、足元の業績の動向に加え、同日公表の「子会社における固定資産の譲渡の一部中止及び譲渡完了に関するお知らせ」及び「特別損失の計上に関するお知らせ」の内容に基づくものであります。

営業収益につきましては、国内ホテルにおいてインバウンドや国内の旅行需要の回復が想定を上回っていることなどにより、2023年2月9日公表数値を上回る見通しであります。営業収益が同公表数値を上回る見通しであることから、営業利益、償却前営業利益、経常利益は同公表数値を上回る見通しであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は同日公表の「子会社における固定資産の譲渡の一部中止及び譲渡完了に関するお知らせ」及び「特別損失の計上に関するお知らせ」などの内容に基づき、同公表数値を下回る見通しであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	営業収益			営業利益			償却前営業利益		
	当連結会計年度 (今回予想)	2/9時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	2/9時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	2/9時点 公表数値比	前期比
都市交通・沿線事業	143,800	+100	+12,468	2,700	+1,200	+8,448	24,600	+800	+7,845
ホテル・レジャー事業	190,500	+2,300	+57,319	4,300	+1,900	+32,350	20,400	+900	+31,528
不動産事業	74,600	+400	△2,039	12,300	+600	△8,279	23,900	+500	△8,642
建設事業	-	-	△62,290	-	-	△3,177	-	-	△3,386
その他	38,900	+400	+6,138	300	+400	+3,556	4,300	+400	+3,462
合計	447,800	+3,200	+11,596	19,600	+4,100	+32,898	73,200	+2,600	+30,807
調整額	△20,800	△200	+18,547	1,400	△100	+1,317	2,800	△600	+2,777
連結数値	427,000	+3,000	+30,143	21,000	+4,000	+34,216	76,000	+2,000	+33,584

(注) 1 調整額については、主に連結会社間取引消去などです。

2 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費およびのれん償却額を加えて算定しております。

都市交通・沿線事業につきましては、営業収益は概ね同公表数値の想定通り推移する想定であります。各種経費のコントロールなどにより、営業利益、償却前営業利益は同公表数値を上回る見通しであります。

ホテル・レジャー事業につきましては、国内ホテルにおいてインバウンドや国内の旅行需要の回復が想定を上回っていることなどにより、営業収益は同公表数値の想定を上回る見通しであります。営業収益が想定を上回る見通しであることから、営業利益、償却前営業利益は同公表数値を上回る見通しであります。

不動産事業につきましては、営業収益は、商業施設の回復が想定を上回っていることなどにより、営業収益は同公表数値の想定を上回る見通しであります。各種経費のコントロールなどにより、営業利益、償却前営業利益は同公表数値を上回る見通しであります。

その他では、スポーツ事業におけるプロ野球関連収入などが想定より好調に推移したことなどにより、営業収益は同公表数値を上回る見通しであります。各種経費のコントロールなどにより、営業利益を計上し、償却前営業利益は同公表数値を上回る見通しであります。

(業績予想の前提)

鉄道業 旅客運輸収入について

		2023/3期 前回予想	2023/3期 今回予想	対前回予想 (増減額)	2022/3期	対前期
旅客運輸収入 (百万円)	定期	36,411	36,211	△199	34,861	+3.9%
	定期外	48,849	49,186	+336	42,308	+16.3%
	計	85,260	85,397	+137	77,169	+10.7%

国内ホテル業 営業指標について

		2023/3期 前回予想	2023/3期 今回予想	対前回予想	2022/3期	対前期
宿泊部門全体	RevPAR (円)	8,567	8,780	+2.5%	4,846	+81.2%
	平均販売室料 (円)	16,204	16,622	+2.6%	15,982	+4.0%
	客室稼働率	52.9%	52.8%	△0.0pt	30.3%	+22.5pt

(注)本資料に記載されている当社グループの業績予想、目標、計画、予想その他の将来情報については、本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成した当該時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの業績、財政状態その他の結果は、国内外の政治、経済、金融情勢の変動や、当社グループの中期経営計画において意図する施策の状況その他の本資料の作成時点で不確実な要素等により、本資料の内容又は本資料から推測される内容と大きく異なる場合があります。

以 上